

令和４年第１８回宝塚市教育委員会の会議（定例会）会議録

１ 開催日 令和４年１１月２日（水）

２ 場 所 宝塚市立光明小学校

３ 開会時間 午後５時００分

４ 閉会時間 午後５時３５分

５ 出席した委員の氏名

五十嵐 孝教育長、木野 達夫委員、松浦 一枝委員及び石井 克馬委員

６ 除斥した委員の氏名

７ 委員及び傍聴人を除く、議場に出席した者

管理部長	高田 輝夫	教育企画課長	岡本 進
学校教育部長	坂本 三好	幼児教育センター所長	三ヶ尻 桂子
社会教育部長	番庄 伸雄	教育企画課係長	板垣 慎一郎
管理室長	福井 健介		
学校教育室長	伴 康史		
学校教育次長	美除 浩		

８ 会議の書記

教育企画課事務職員 藤原 明穂

９ 議題

○議案第２８号 令和４年度教育委員会所管一般会計補正予算(第７号)(案)の提出について意見を申し出ることについて

会議の概要

	開会 午後 ５時００分
五十嵐教育長	それでは、時間が参りましたので、令和４年第１８回宝塚市教育委員会の会議（定例会）を開催いたします。傍聴希望の方はいらっしゃいますか。
岡本課長	おられません。
五十嵐教育長	それでは、本日の署名委員は石井委員でございます。どうぞよろしくお願いいたします。 なお本日は、篠部委員から欠席の通知を受けております。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第１４条第３項の規定により、過半数の委員の出席がありますので、本会が成立する旨報告いたします。 本日の付議案件は、議決事項１件です。 それでは、進行について事務局からお願いします。
岡本課長	本日の付議案件は、議決事項１件です。 議案第２８号 令和４年度教育委員会所管一般会計補正予算(第７号)(案)の提出について意見を申し出ることについてです。 御審議のほどよろしくお願いいたします。
五十嵐教育長	それでは、議案第２８号 令和４年度教育委員会所管一般会計補正予算(第７号)(案)の提出について意見を申し出ることについて、担当課より説明をお願いいたします。
岡本課長	議案第２８号 令和４年度教育委員会所管一般会計補正予算(第７号)(案)の提出について意見を申し出ることについて、内容を御説明申し上げます。 本件は、令和４年度一般会計補正予算(第７号)(案)のうち、教育委員会関係予算に関しまして、令和４年１２月市議会(定例会)に議案を提出するにあたり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２９条の規定により、市長に次の予算案をもって意見を申し出るものです。 お手元に配布しております資料の２ページ目を御覧ください。 令和４年度教育委員会所管一般会計補正予算(第７号)(案)につきましては、歳入予算に１億４００７万３千円を増額し、総額を１７億１７３７万３千円といたします。また、歳出予算に２億５０２５万４千円を増額し、総額を５１億６６８６万９千円といたします。

詳細につきましては、5ページ目からの表を御覧ください。

まず、No.1 教育企画課で上から4つ、幼稚園運営事業、小学校運営事業、中学校運営事業、特別支援学校運営事業の光熱水費をそれぞれ99万3千円、7949万円、3550万2千円、206万8千円を増額しております。

同じくNo.5 教育研究課、教育総合センター管理運営事業の光熱水費538万9千円、No.7 中央図書館、光熱水費380万4千円、No.8 西図書館、光熱水費43万円をそれぞれ増額しておりますが、こちらは昨今の特に電気代ガス代ですけれども、単価が大幅に上がっているという状況を踏まえて、予算が大幅に不足しますので、今回増額の補正をしようとするものです。

同じくNo.6 社会教育課の公民館と自然の家の管理運営事業になりますけれども、こちらが指定管理者に支払う指定管理料が、光熱水費が大幅に増加しますので、そこを物価高騰等対策指定管理者継続支援金という名目で賄おうとするもので、それぞれ50万円と10万円。

あとは、No.9 スポーツ振興課のスポーツ施設管理運営事業のところも175万円増額しておりますけれども、スポーツセンターの指定管理料が不足しますので、こちらも物価高騰等対策指定管理者継続支援金という補助金を支給する形で増額しようとするものです。

続きまして、No.2 施設課の小学校施設整備事業のうち校舎等整備工事費、2600万8千円ですけれども、横に長尾台レッドゾーン解消のための工事費の増と記載させていただいております。こちらは、長尾台小学校が斜面地にありまして、校舎から見て山側の斜面が土砂災害警戒区域、いわゆるレッドゾーンに指定されております。そちらにつきましては、以前から工事が必要ということで工事費の予算を計上していましたが、今年の7月にどういう工事をするかの設計委託が完了しまして、その結果として予算が不足しますということになりました。その分の不足予算額を2600万8千円計上しております。

続きまして、特別支援学校施設整備事業の校舎等整備工事費1億4883万円ですけれども、こちらは市立養護学校の長寿寿命化工事を行う

ため、新たにこの金額を計上しようとするものです。こちらにつきましては、長寿命化工事で工事自体が複雑で早期に着手をする必要がありますので、今回12月補正予算で計上しようとするものです。

続きまして、No. 4 学校教育課の機械器具費267万円ですけれども、こちらは寄附金を活用し楽器を購入しようとするものです。こちらにつきましては、市内にある音響メーカーさんの株式会社TOAさんの方から企業版ふるさと納税の制度を使って、何かしら市の方に寄附をされたいというような申し出がございました。所管自体は、企画政策課と言って市長部局の方になるんですけれども、その中で照会がありまして、今回につきましては寄附金額は300万円ですけれども、その内267万円につきましては、学校の楽器の老朽化が進んでおりますので、そちらの購入費に充てようとするものです。今申し上げた、寄附金自体は300万円ですけれども、このふるさと納税の寄附金制度につきましては今回、間にみなと銀行さんが仲介で入っておられまして、仲介の手数料部分が33万円発生しますので、その部分が除かれた形の差額の267万円の歳出の部分のみを教育委員会としては計上をしているということになります。

続きまして、No. 7 中央図書館の歳入に広告料60万円と書いてあるものがあると思います。その右側に歳出としてそれぞれ消耗品費と図書と書いてございますけれども、こちらとNo. 8 西図書館の歳入の方に広告料25万円、それに対して歳出も25万円を計上しております。こちらはそれぞれの館で広告を募集しまして、それに基づいて応募がありましたので、その見込まれる収入をそれぞれ各館の消耗品や図書に充てようとしているものです。

続きまして、No 7 中央図書館の社会教育に対する寄附金という項目、No. 8 西図書館の社会教育に対する寄附金がそれぞれ12万1千円と10万円でございます。こちらは特定公益信託で、広辻眼科さんがその信託を設定されており、そちらの方から寄附がされるということでございまして、寄附金を活用してそれぞれ庁用器具備品と図書を購入しようとするものでございます。

今説明を申し上げた以外のものにつきましては、入札差金の減であった

り、過年度の精算金、執行見込みを減額しようとするものです。

こちらからの説明は以上でございます。よろしく御審議賜りますようお願いいたします。

五十嵐教育長 御説明ありがとうございました。何かこの件につきまして、御質問ありますでしょうか。

木野委員 はい。

五十嵐教育長 木野委員お願いします。

木野委員 養護学校の工事が１億４８００万ということで、ちょっと金額が補正にしては大きいなと思ったんですけども、このタイミングになったのをもう一度御説明いただいてもよろしいですか。

岡本課長 もともと養護学校につきましては、今から約２０年前になりますけれども、２０００年度から２００２年度の３カ年にかけて、大規模修繕改修工事を実施している学校になります。今回、これから先３０年以上利用するために、省エネのための外部や内部の塗装や、防水改修、設備の機器の更新等を長期的に使えるような形でやり替えるという工事になります。

通常夏休みの期間にできるだけ工事を実施しますが、工事内容が通常の改修工事に比べて複雑であるということと、着手前の準備であったり、早期着工が必要であることから、契約時期が後ろにずれますと、その事前の準備が全然できなくなりますので、その辺りも含めて、契約時期を何とか前倒しをして発注をしようということです。通常国の予算を使って契約を発注する場合につきましては、３月市議会で補正予算を計上して、翌年度に繰り越して実施するというケースが多いですが、今回につきましては、３月でそれをする予算が成立してからじゃないと入札公告が出せず、契約する時期がどんどんずれていってしまいますので、担当課の想定としては４月頃には契約が終わっているという状態で実際の工事までの期間を長くとりたいというようなことで、今回１２月市議会で補正予算を提案しようとしているということです。

木野委員 ありがとうございます。

五十嵐教育長 よろしいでしょうか。

木野委員 はい。

- 五十嵐教育長 他に御質問は。
- 石井委員 はい。
- 五十嵐教育長 石井委員。
- 石井委員 今回の点ですけれども、前倒して発注したい理由としては、何か３０年先を見越してですか。
- 岡本課長 市の予算と契約の関係ですけれども、業者の皆さんに「こういう案件があるので入札してください」と入札公告というものがあるんですけれども、こちらについては、予算の裏付けがないと市として表に出せないというルールになっています。通常の予算で言うと３月市議会の、例えば２月十何日かに予算を提案して、最終的に予算が通常可決されるのが３月２０日過ぎぐらいになるんですけれども、そのタイミングから担当課も準備をします。庁内的には業者選定委員会といいまして、その工事をできる業者さんはどこですかというような審査を経て公告をした上で、最終的に業者さんが札を入れて決まるという流れになるんですけれども、そこは通常、２カ月から３カ月程度かかります。そうすると今回の案件で言いますと、３月市議会で提案をしますと、４月以降で今の手続きをして、最終的に契約が出来るのが、恐らく６月～７月頃になる見込みになります。通常、学校は夏休み期間中に集中的に工事をしますので、７月に契約ができたとしても、今回は工事内容が複雑になりますので、調整する期間が殆どないことになりますので、事実上業者さんがなかなか入ってこられないような事態も想定されますので、今申し上げたスケジュールを全体的に前に倒して、契約してから実際に工事にかかるまでの期間を確保しようというようなものでございます。
- 石井委員 通常の複雑じゃない工事であれば３月議会で、夏休みに間に合うという話ですよね。
- 岡本課長 そうです。
- 石井委員 もう一点、社会教育課の執行見込み減、西図書館も執行見込み減がありますけれども、要は使う金額を減らしますということかと思いますが、これは減らして大丈夫でしょうか。
- 番庄部長 この時期において減額するというのは、西図書館と併設している西公民館があるんですけれども、空調工事ということで、昨年１２月から今年６月ま

- での6カ月間かけて大きな工事をやったんですけれども、結果的には、思っていた金額よりも少なくなりましたので、この時期に不要になった額を落とすという形になりました。工事は完了しております。
- 石井委員 分かりました。
- 五十嵐教育長 よろしいでしょうか。
- 石井委員 はい。
- 五十嵐教育長 特別支援学校の方は、子どもに影響が出ない夏休みの期間にきちっとやっ
てしまおうと思えば、こういうスケジュールになるということですね。
- 岡本課長 そうですね。あと工事期間も相当長期になる見込みで、何年度かやってい
かないといけない工事になるんですけれども、ひとまず今回その第一弾とい
う形になります。
- 五十嵐教育長 分かりました。
- 委員 では、他に皆さん御意見、御質問ございませんか。よろしいでしょうか。
- 委員 (なし)
- 五十嵐教育長 それでは、議案第28号 令和4年度教育委員会所管一般会計補正予算
(第7号)(案)の提出について意見を申し出ることについては、原案通り可
決いたします。
- 委員 それでは、予定の案件は以上ですが、本日の公開研究会に参加いただきま
したので、改めて委員の皆様から御意見御感想を頂いて委員会を終わりたい
と思っております。
- 委員 では、石井委員からお願いできますか。
- 石井委員 子どもたちの主体的な発言や協調性が本当に素晴らしいなと思いました。
そういった授業が光明小学校の中だけでなく、他の学校にも広がって欲しい
なというのと、広げていくのが僕の役割でもあるのかなと感じました。今日
私が知っている先生方も何人かいらっしたんですけれども、やはり全員
の先生方が来ているわけではないですし、先ほど教育長からもお伺いしたん
ですけれども、学校単位で導入を広げていくというのは、教育課程を進める
上でなかなか時間が足りない現状がある中で、少しでも先生方単位でもいい
から今日みたいなスタイルは広がっていけば良いなと思ったので、何かでき
ることはないかなと、見つけていきたいなと思いました。

五十嵐教育長

ありがとうございます。

それでは、松浦委員お願いします。

松浦委員

子どもたちが結論を出すのに多数決を用いなくて徹底的にちゃんと話し合っていて合意形成をしていたというのは、すごく驚きました。

あと、どうしても大人の会議なんかだと声の大きな人が言うとみんな黙ってしまうことがありますけれども、子どもが「私はちょっとそれは恥ずかしいから嫌です」とか「お笑いは私はちょっとしたくないです」とかはしっかりと自分の気持ちを表現していたのは驚きました。

あと、どこかで誰かが何かを机から落としたら、割と離れている席の子がすぐ拾って渡したり、あとは誰かが意見を言うと、「それも良いね」とか「それも良いかも」とか共感的に自分の机で呟いている女の子とかがいて、誰かに、人に寄り添うみたいな素地がすごくでき上がっている気がしました。何か素晴らしいなと思いました。

五十嵐教育長

ありがとうございます。

それでは、木野委員お願いします。

木野委員

はじめに、2年生の教室を見学したんですけれども、まず見た目に驚きました。口の字型になっていて、そういう形を初めて見ましたし、司会の席も児童しか座っていなくて、司会を児童がしていると。あとは、中身もしっかりと司会の担当の児童が進行をしているし、みんな自分の意見をどんどん言っているというところまでとにかく驚かされました。次に隣の1年生の方に移ったんですけれども、1年生はさすがにちょっと無理なんじゃないかという頭で覗いていたら、1年生もちゃんとやっている。なんだこれは、という感じで、ただ単に言いたいことを言い合っているのではなくて、きちんと会議になっているということが本当に驚きました。もちろん中学年、高学年とより素晴らしかったですけれども、低学年の子どもがこんなことができるんだと率直に驚いたという、素晴らしいなと思いました。

五十嵐教育長

ありがとうございました。

非常にそのように学校での取組を評価いただけたことは、とても私も嬉しいと思いますし、光明小学校の先生方にもそのことはお伝えしておきます。

それで、石井委員から言っていたいただいたように、こういった取組が良いも

のであるんだったら横展開できないかというお話ですけれども、公開研究会というのはそのためのものであって、「こういう取組がありますよ、皆さんどうぞ見てください」と。「意見があれば聞かせてもらおうし、どうぞ皆さんのところでもやってください」というものですが、なかなかそれが学校の取り組みになるというところまでは至らないというのが現状ですね。

どうしてもその学校の子どもたちの課題というものがありますから、その課題がいっぱいあるうちの優先順位の高いものから選んでいく訳であって、それがたまたまここと一致すれば、この取組をやろうかということになるでしょうけれども、どうもそうではないようであったり。

それから、これはやっぱり今日のこの会とは少し話がずれるかもしれませんがせんけれども、講師の先生がおっしゃっていたように、やっぱり今の教育はこれで良いのかというようなことを問うた時に、私もすごく強く感じているのは、どうしてもこれまでやってきたことに先生たちが固執してしまっていて、何か今の子どもにこんなことが必要だからこうしようなんていうことは、気軽にはなかなか言えない。やっぱりこれまでやってきたことが、絶対ダメだと言われない限りそこにしがみついているところがありまして、それは横展開しづらい大きな原因かなという気がしています。

だから、色んな取組で今、私どもも現場の先生方にこういうことをしようという提案もしていますが、やはりそれも結構はね返ってくることが多いので、一つにはこういう会を積極的にあちらこちらで開いて、そこでたくさん先生の先生が参加してもらおうということが大事ですけれども、残念ながらコロナの関係もありまして、ここ2年ほどはあまりこういう会自体ができていないというのもございます。

また、教育委員の皆さんも見られたもので、これ良いなと思ったら直接そういうことを先生方に語っていただく。今日でも帰り際にもしも、光明の先生に出会ったら、これは良かったとか言っていただくと、子どもと一緒に褒められると延びますので、やっぱり評価をいただくことが大事かなと。教育委員の皆さんがこうやって学校に来ていただいたということだけでも、たぶん光明小学校の先生方にとっては嬉しいことだと思いますし、そこでまたお声がけいただくということはとても良い、これから前向きに取り組める要因

になると思いますので、ぜひ今の御感想なりをまた直接先生方に伝えてもらえたらと思います。

石井委員 よろしいですか。たぶん中学年の事後研究会で、恐らく1年目の先生が「やっているけれどできないんです」と。

松浦委員 3年生ですね。

石井委員 いらっしゃいましたよね。ああいう先生がいらっしゃるのであれば、何かできないのかなというのをちょっと感じました。先生同士の繋がりでは、なかなか難しいと思うので正直。やりたいという先生がいるのであれば。

五十嵐教育長 それは、自分もやっているけれど上手くいかないんだというようなことですか。

石井委員 1年目で、そうです。そういう先生もいらっしゃったので。

五十嵐教育長 それ低学年の部会でも同じ意見が出ていましたね。

石井委員 本当ですか。

五十嵐教育長 はい。

そうでしょうね。だから、たぶんそういう方がこういう研究会にも来て、何かヒントを得たいと思ってこられるんじゃないかなと思うので。今回の研究会は市の指定ですから、主に市内の先生方が来られています。だから、そうなったらやっぱり市内ですから、もうちょっと気軽にお互い情報交換してもらったら良いですけれどね。新任の先生になるとそれ自体も難しいかもしれませんね。私だったらすぐ電話して、「あれはどうして?」とか「資料ちょうだい」とか言いますが、そういうことは言えないでしょうね。

石井委員 教育委員会がワンクッション置いてあげるとかあれば。

五十嵐教育長 なるほど。今日、学年ごとの事後研究会の話し合いの中で出てきたような話があれば、また学校から聞いておくようにいたします。

伴室長、タブレットの中で教員同士がそういう意見交流できるとかっているのはないですかね。

伴室長 T e a m s で今ほとんどやっていますけれども。そういうもので繋がったら良いのかなと思いますけれども。

五十嵐教育長 そうしたら、例えば今日のように研究会とかがあった時には、そのあと一定期間、研究会での中での質問だとか御意見だとかいうのがあったら、そこ

に入れてね、みたいなことがあって直接、光明の先生がそれに答えるとか、そういうのを作ってあげたら良いのかなという気がしますね。

ありがとうございます。ちょっとやれるかどうか分かりませんが、考えてみます。

石井委員 でも、せっかく熱いうちに打てじゃないですけども、それで明日からでも授業が変わるならそれは良いと思います。

五十嵐教育長 なかなか今、こういう研究会にも行きづらいという事情がどうも現場にはあるようで、今日のこの会に参加しようと思えば、5校時の授業を自習にしてくるなり、担任が誰か他の先生にお願いしてこないといけないわけですね。それがやりにくい。やっぱり自分がいない間に何か起こったらどうしようというような思いが強いですね。

石井委員 今日はみんな早くなかったですか。

五十嵐教育長 今日は水曜日ですから。でも、どこも5校時までやっていますね。もう今、時間割もいっぱいいっぱいなのです。

石井委員 そこもそうですよね。

五十嵐教育長 分かりました。今の御意見は参考にさせていただきます。

他に今日の研究会について何か御意見ございませんか。

坂本部長 先ほど、石井委員から横の広がりということがありましたけれども、今日公開研究会に来ていただいた先生が持ち帰ってというのもありますし、もう一つは、ここで学ばれた先生が他の学校に異動された時にここの取組を、ということで、それこそ美座小学校が今年から特活を始められました。だから美座小学校も、もう数年経ったらこういう取組ができるかなと思います。

五十嵐教育長 実は、ここでこの取組を始めた本人が美座に転勤しました。

石井委員 僕は見ていたので、どこの学校もこれをみんなやっていると思っていたんです。違うと聞いて、その横展開が気になっていました。

坂本部長 今年から特活に取り組んでいると聞いています。

五十嵐教育長 校内研究もやったんですか。

坂本部長 校内研究もやりました。

五十嵐教育長 失礼しました。やっていたそうです。

石井委員	やっていたような思っていたんです。
五十嵐教育長	なるほど。それもありますね。
坂本部長	ただ、すぐには自分の学校でこれまでやってきたことがありますので、なかなか展開するのは難しいですけれども、恐らく先生が頑張られたことだと思います。
石井委員	校長先生も変わって。
坂本部長	そうですね。以上です。
五十嵐教育長	ありがとうございます。
	では、他には御報告、御意見ございませんか。
委員	(なし)
五十嵐教育長	本当に今日は遅くまでどうもありがとうございました。
	それでは、他に何か報告等ありますか。
岡本課長	事務局からはございません。
五十嵐教育長	では、本日の教育委員会を閉会といたします。
	どうもありがとうございました。

閉会 午後 5時35分